

# ODA

# しゃりん 70

## 沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
Eメールアドレス [sekiren@proof.ocn.ne.jp](mailto:sekiren@proof.ocn.ne.jp)  
ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### 沖縄県福祉のまちづくり 条例審議会

去る3月6日(火)PM 2:00~PM 4:30、県庁6階会議室において、平成18年度沖縄県福祉のまちづくり審議会が開催されました。委員会は、上原義雄会長を含め十一名の委員と県の担当者からなり、主に、福祉のまちづくり条例の改正された事項について審議されました。また、昨年末に施行された「ハートビル法」と「交通バリアフリー法」を一つにまとめた「新バリアフリー法」の概要説明も県の担当者からありました。改正された「県福祉のまちづくり条例」や「新バリアフリー法」が多くの人たちに周知

されて、実行されていくように、障がい者の立場からも大いに声を上げていきましよう。

(報告・上里)



### バリアフリー新法認定 披露及び施設見学

全脊連・沖縄支部は、バリアフリー新法認定披露及び施設見学の招待を、沖縄から初めて認定を受けた

マリオットリゾート&スパから受け、3月15日(木)雨天ではありましたが行ってまいりました。

二つのパターンのバリアフリールームを見学できました。その日の担当の方の話では、部屋の入口やトイレ、バスルーム、クローゼットなどを、車椅子利用者にとって使い易いように改装した部屋が40部屋近くもあるようです。

沖縄協から一緒に参加していた沖縄連の会員でもいらっしゃる山入端さんと、見学のため車椅子二台で同時に部屋に入っただけでもゆとりがある造りでした。詳細は、事務所にパンフレットをおいてあります。

(報告・荷川取)

(写真次ページ)



## 大城渉さん

### 再審査請求

去る3月12日(月)PM 2:00~PM 4:00、県庁並びに県民広場において、大城渉さんの障害者自立支援法における介護給付決定通知書に対する再審査請求が行われました。これは、名護市出身の大城渉さんが、昨年12月に県から出された審査請求の回答では、生活を営む上で支障をきたすことが明らかであり、納得できる内容ではなく、再度、県に対して審査請求の申請がなされました。

昨年10月に完全施行された障害者自立支援法は、今回の大城さんのケースに限らず、全国各地におい

て、同じような審査請求が行われており、今後の審査結果を冲脊連としても注視していくべきだと感じています。

(報告・上里)



### 映画「マードボー」の上映会を開催

去った1月27日(土)、ウィルチェアアラグビーチーム、沖繩ハリケーンズ

と桜坂劇場とのコラボ企画でウィルチェアアラグビー(車椅子ラグビー)のドキュメンタリー映画『マードボー』の特別上映会を開催しました。

上映は、浦添市にある「サン・アビリティーズ」から「そえ」の協力より同施設内の体育館にて行なわれ、当日は約240名のお客様が映画やデモンストレーションを楽しまれました。桜坂劇場でも2週間上映されましたが、その間、沖繩ハリケーンズのメンバーによるトークショーも数回開催され、上映期間中合わせて約2千名のお客様に映画をご覧になって頂くことができました。映画を見逃した方はDVDにて発売もしておりますので是非ご

ご覧ください。(発売元・エーベックス)

今回の映画上映を通して  
 たくさんの方々に『ウィル  
 チェアラーグビー』という  
 スポーツ、そして私たち  
 『Okinawa Hurricanes』と  
 いうチームを知っていただ  
 くことが出来ました。又、  
 たくさんの方々に応援の声  
 を頂きチーム一同感激して  
 おります。『日本一、そし  
 て沖縄から世界へ』を目標  
 に皆様の応援に恥じない活  
 動をしていきたいと思いま  
 す。桜坂劇場、沖縄脊髄損  
 傷者連合会、サン・アビリ  
 ティーズうらそえ、ボラン  
 ティアの学生さん、たくさ  
 んの方々にご支援ご協力頂  
 き心より感謝申し上げます。

選手・スタッフ・関係者一同



(体験試乗・上映時の模様)

## 中高校生リーダー養成 講座

去る3月18日(日)、  
 北中城中学校体育館で地域  
 の中高校生30名のリー  
 ダーと沖縄フェニックス  
 (選手六名、マネージャー  
 五名)とのふれあいバス  
 ケを行いました。

リーダーの子どもたちに  
 車椅子バスケの競技の説明  
 をしたり、日常用の車椅子  
 と競技用の車椅子の違いな  
 どを話した後、実際に子ど  
 もたちに車椅子に乗っても  
 らいバスケットを体験してもら  
 いました。去年の同時期に  
 もリーダーを対象にしたふ  
 れあいバスケットを開催した為  
 か、半数以上の子どもたち  
 が車椅子を上手に乗りこな  
 し、バスケットを楽しんでいま

広告

した。

質問コーナーでは多くの質問があり、リーダーの車椅子に対する興味や関心が深いこともわかり、とても充実したふれあいバスケットになりました。また保護者の方からは「子どもたちがこれから生きていくための何かのヒントにしてほしい。これからもっと車椅子の方々に触れ、今日発見できなかったことをもっと吸収してほしい。」という意見を頂きました。

ふれあいバスケットの後には中城中央公民館に移り、バーベキューをしたりビンゴゲームをしたりと双方が楽しく交流できた1日でした。皆さんお疲れ様でした。

(報告マネージャー・竹沢)

毎月三十日発行  
ODA通巻382号



発行人  
沖縄県南風原町字神里六三一  
沖縄県身体障害者福祉協会

編集人

沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F  
ボランティア小規模団体室・しゃりん編集部

上里一之

購読料は会費に含む  
【頒価 二十円】



**パラキャン in 沖縄**  
去る二月十、十一、十二日の三日間にわたり那覇市簡保レクセンターにてパラリンピックキャラバン in 沖縄が開催され、全県のミニバスケットボールの子ども達を対象に車椅子バスケットボールを通して障害に対する理解と車椅子バスケットボールの普及を目的として開催されました。三日間を通して約450名の参加者と共に汗を流し交流を深める事が出来ました。

(報告・神里)

広告